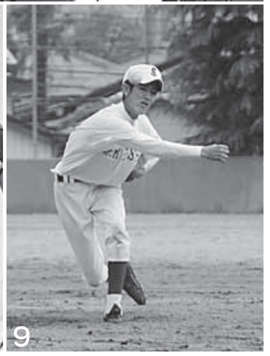
両雄激突

白角定期戦

両校が男女共学となって2回目の定期戦。
本年から、女子競技が初めて実施され熱戦が繰り広げられた。
100年以上の歴史を誇る両校。
統合という変化の中で、
生徒たちは新たな伝統を自らの手で創り上げた。



白石高校が総合優勝 4回連続33度目の栄冠

5月8日、白石高校と角田高校の伝統の戦い「白角定期戦」が、白石高校を主会場に開催された。

昨年は東日本大震災の影響で中止。2年ぶりの開催となった。また、両校が男女共学となって以来、女子競技が初実施。弓道（男女混合）とソフトボール（女子）が新たに加わり、バスケットボールとバレーボールに女子競技が追加。ソフトテニスと剣道が男女混合となり、9種目11競技で熱戦が繰り広げられた。

開会式で白石高校生徒会長の菅原彩子さんが、「両校ともに今までの成果を最大限に発揮し、すばらしい定期戦にしましょう」と会場校を代表してあいさつ。続いて、同校野球部主将の鈴木椎磨くんが「震災で試合ができなかった先輩のため、応援してくれるすべての人に感謝して、各校の名にかけ全力で戦うことを誓います」と力強く選手宣誓し、試合が始まった。

最初に勝利をつかんだのは角田高校。お家芸ともいえる剣道で勝利を収めた。しかし、白石高校も女子バスケットボールと弓道などで勝利。2連敗中だったサッカーも雪辱をはらす。最後の競技となった野球も、投打がかみ合い勝利を収め、8競技を白石高校が制し、4回連続33度目の総合優勝を果たした。

新たな伝統を自らの手で

白石高校は平成22年に統合。角田高校は5年早い平成17年に統合した。統合という変化の中でも、両校で脈々と受け継がれる伝統。「絶対に負けられない戦い」に向けて、選手と応援がひとつとなり、自らの手で定期戦という名の伝統を創り上げてきた。来年、50回目を迎える定期戦。どんなドラマが生まれるか、今からとても楽しみだ。

1_開会式でエール交換を行う両校。戦いはすでにスタート　2_勝利を祝い胴上げする男女ソフトテニス　3_3回ぶりに勝利を収めた男子サッカー　4_ボールを奪い合う選手たち　5_男女混合で実施された剣道　6_真剣に的をねらう選手たち　7_白球に集中する選手　8_笑顔でハイタッチをする選手たち　9_先発で流れを作った山本直樹くん　10_全校生徒で最後の競技である野球を応援　11_力の限り応援する生徒たち　12_選手宣誓を行った野球部主将の鈴木椎磨くん　13_総合優勝のカップを手にした生徒会長の菅原彩子さん　14_白石高校の勝利を祝い小野寺洋征校長が生徒たちに胴上げされた

■白角定期戦の競技別結果（順不同）

種目	白石高校			角田高校
男子サッカー	○ 3	－	0	×
男子バスケットボール	○ 84	－	54	×
女子バスケットボール	○ 72	－	43	×
男子バレーボール	○ 2	－	0	×
女子バレーボール	× 1	－	2	○
男子卓球	○ 3	－	0	×
男女ソフトテニス	○ 5	－	2	×
男女剣道	× 2	－	4	○
女子ソフトボール	× 3	－	8	○
男女弓道	○ 50	－	32	×
男子野球	○ 7	－	3	×